

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	リハビリテーション治療における rTMS 治療の効果判定のための画像・数値流体力学的検証：前向き・後ろ向き研究		
1. 研究の目的と方法	<p>反復経頭蓋磁気刺激(rTMS)治療が脳血流のどのような影響を及ぼしているかを詳細に解析するために数値流体力学的解析といった手法で解析を行います。この手法により解析された脳血流の変化と rTMS 治療の身体機能にもたらした効果を比較することで、rTMS 治療により脳血流はどのように変わるのか、またどのような変化がリハビリテーション治療の向上につながるのかを検討します。</p> <p>rTMS 治療を受けた際の磁気共鳴画像(MRI)および治療前後の脳血流シンチグラフィ(SPECT)で得られた画像を用いて解析を行います。これらの画像を、個人を識別できないように加工し、共同研究機関である東京大学 生産技術研究所に提供し数値流体力学的解析を行います。本研究によって得られる脳血流の変化がリハビリテーション治療の効果と関連するかを検証します。</p>		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2029年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	東京慈恵会医科大学附属病院 リハビリテーション科に通院されている患者さんで、2020年4月1日～倫理委員会承認日の間に反復経頭蓋磁気刺激(rTMS)治療を受けた18歳以上の方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1)試料の種類	試料は使用しません。	
	(2)試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3)情報の種類	診断名、性別、年齢、身体所見、病歴、既往歴、アレルギー歴、検査結果（頭部MRI検査、SPECT検査）、身体機能評価（リハビリテーションの治療前後の評価の結果になります）	
	(4)情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1)当施設の研究責任者または研究代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 リハビリテーション医学講座
		氏名	稻葉祐
	(2)当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3)当施設の試料・情報の管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
	(4)共同で研究を実施する	東京大学 生産技術研究所 教授 大島まり（機関の長：大島まり）	

	施設とその 責任者	
6. 情報を他機関と やり取りすることについて		<p>この研究で収集した試料・情報は患者さんのお名前やカルテ番号などの個人情報を削除し、新たに研究用のIDや番号をつけてから、以下の機関に以下の方法で送られ、詳しく解析されます。</p> <p>提供方法：個人を識別できないように加工した画像データをパスワード機能付きのフラッシュメモリに保存し、研究代表者により直接、東京大学生産技術研究所に持ち込み同研究室金庫内のハードディスクに移します。フラッシュメモリ内のデータはデータを運んだ後に速やかに削除いたします。</p> <p>情報の利用および提供開始予定日：2025年12月中旬頃～</p>
【問い合わせ先】		<p>機関名：東京慈恵会医科大学 リハビリテーション医学講座</p> <p>研究責任者：助教 稲葉 祐（いなば たすく）</p> <p>電話番号：03-3433-1111（内線 9255）</p> <p>対応時間：平日 9:00 ~ 16:00</p>

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。